

マイニューホランドとは？

MY NEWHOLLAND はニューホランドのネットワークサービスをご利用いただく際に必要となるユーザーアカウントで、ニューホランド製品のユーザーはどなたでも無料でかんたんに作成できます。アカウントを一度作成いただくと、下記のニューホランドのテレマティクスサービス全てでご利用いただけます。

Field Ops フィールドオプス

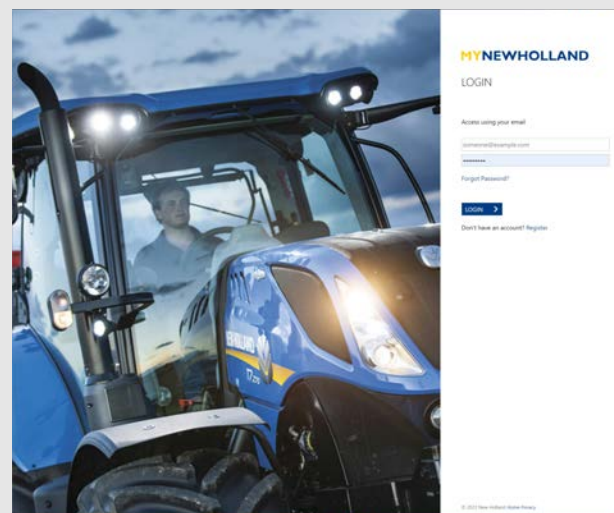
FieldOps はクラウドに集約されたデータを閲覧したり管理することができるモバイル&Web アプリです。ご自身の農場の圃場境界線やガイダンスラインの管理やデータ整理、ドローンや人工衛星で得られたリモートセンシングデータのインポートと分析、そしてそれをもとに可変施肥マップを作成することが可能です。

車両データも一元管理することができ、車両の位置やキーのオンオフがどこにいても確認できます。そしてニューホランド製のテレマティクス対応車両の場合は、作業機の上げ下げや燃料残量、各種油温油圧、アドブルー残量を確認することができます。

RTK PLM コネクト

ニューホランドの RTK PLM コネクトはモデム一体型のため、車両のキーをオンにするだけで自動的に RTK へ接続されます。日本ニューホランドが自社で設置したベースステーションは、海外サーバより 24 時間保守管理され、安定した高品質な RTK を提供します。RTK PLM コネクトは、1 台の PCM モジュールで MY PLM コネクトアドバンスと同時にお使いいただけます。

期間は 1 年、3 年、5 年からお選びいただけます。



MYNEWHOLLAND

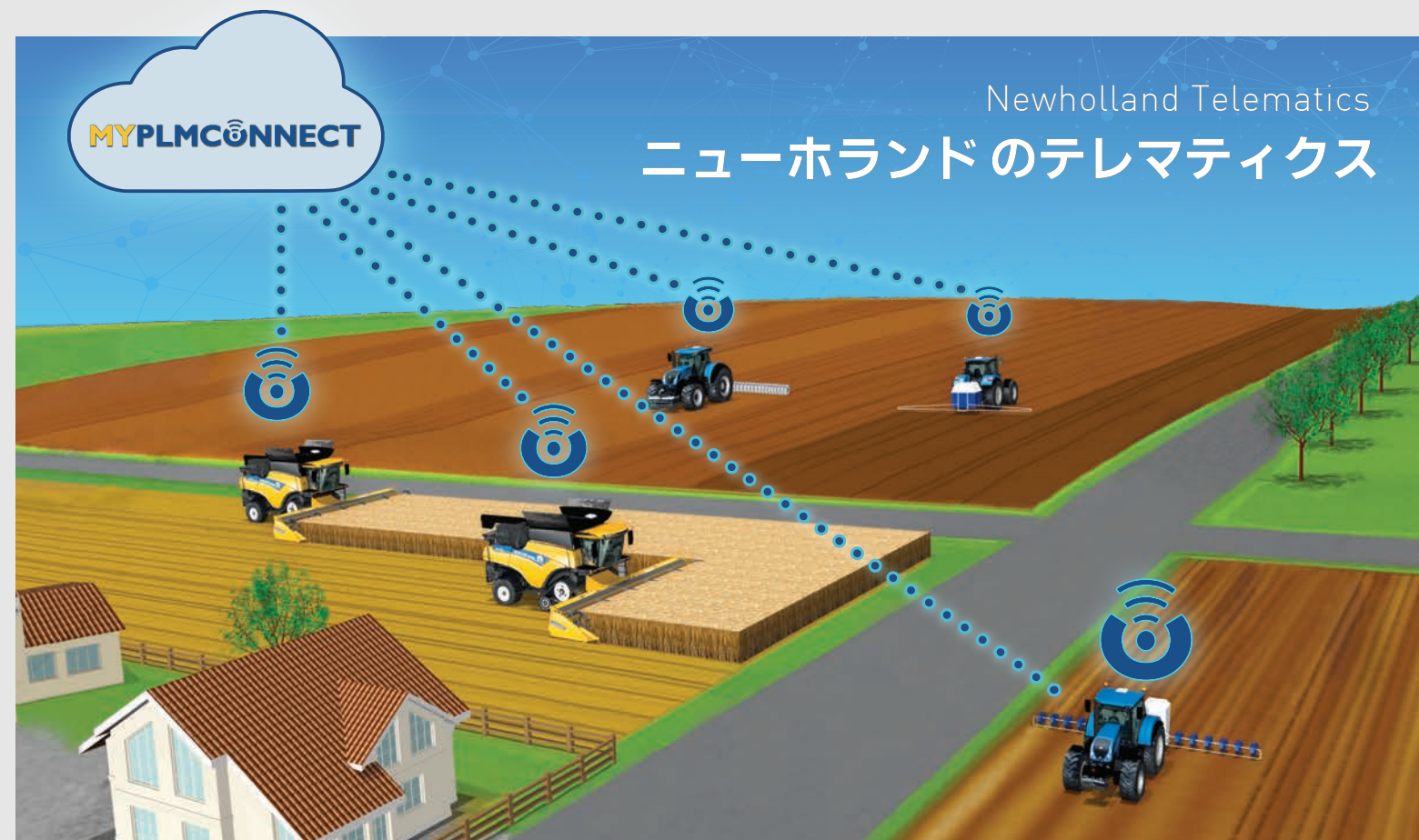
MY PLM コネクト アドバンス

MY PLM コネクト アドバンスは、ファイルトランスファーの機能をご利用いただけます。テレマティクスによって車両情報を確認するだけでなく、ファイルトランスファーはデータの送受信の機能をもちますので、クラウドと車両間で直接データの送受信が可能になります。

それによって、FieldOps で作成した可変施肥マップや圃場データをトラクターへ直接データを送ることが可能になります。またニューホランド製の収量や水分センサーを取り付けたコンバインやハーベスターの場合は、収穫データが車両のキーオフ時にクラウドにアップロードされるため、オペレーターは普段の収穫作業をおこなうだけで日々の収穫データを蓄積できます。期間は 3 年と 5 年のいずれかをお選びいただけます。



アカウントの作成はこちら
MY NEWHOLLAND アカウントは、こちらの QR 画像からアクセス頂ければ、どなたでも今すぐ作成できます。



テレマティクスのデータハブ MY PLM コネクト

テレマティクス。それは車両などの移動体がインターネット接続をして、データの相互通信を可能にします。テレマティクスデータの集約先となり、そして他の車両にもデータを送り出す、それがニューホランドのテレマティクスサービス「MY PLM コネクト」です。

次世代通信デバイス PCMが コネクテッド つながる未来を実現

ニューホランドの RTK PLM コネクトは、当初から通信デバイスとセットで提供されています。それはニューホランドの RTK は総合的なテレマティクスサービスの一環であり、通信デバイスとセットで提供することでより良いテレマティクス環境が構築されるとのコンセプトからもたらされています。

そしてついに、次世代通信デバイス「PCM」の登場によって、ニューホランドのテレマティクスサービスは飛躍的に発展しました。

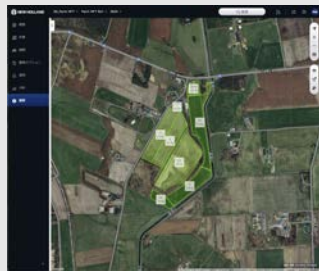




農場データから施肥マップの作成
そして車両の管理まで全てがここに集約

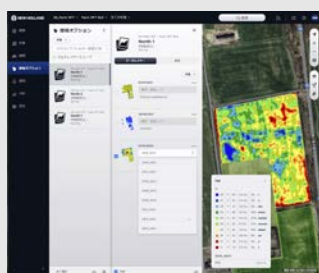


ニューホランド純正の農場管理システム



FieldOps はニューホランド純正の農場と車両の管理アプリです。スマホやタブレットの専用アプリ、又は PC などのブラウザからアクセスする Web アプリです。ご利用には MY NEWHOLLAND アカウントが必要になります。

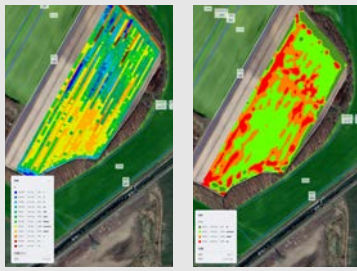
リモートセンシングデータのインポートと分析



ドローンや人工衛星で取得した圃場のセンシングデータは、CSV 形式で FieldOps にインポート可能です。ニューホランドのドローンセンシングサービスをお申し込み頂ければ、お客様の FieldOps に直接センシング

データをアップロードすることも可能です。センシングによって生育状態を見える化して、それをもとに可変施肥マップを作成することが可能になります。可変施肥の後にも再調査することによって、生育がどう改善されたかも確認することが可能になります。

収量データと水分データのマップ表示



ニューホランド製のコンバインやフォレージハーベスターの収量や水分データを FieldOps にインポートしてマップ化して表示することができます。

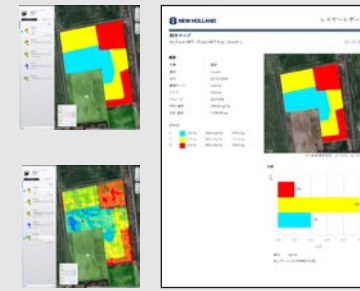
PCM 通信装置と MY PLM コネクトアドバンスをお申し込みいただければ、収量や水分データは車両のエンジンがオフの間に、直接インターネット経由で FieldOps にアップロードされますので、面倒な USB メモリのデータコピーが不要になります。

圃場の境界線とガイダンスラインの編集



つい増えてしまいがちなガイダンスラインは、車両のガイダンスモニターで整理するのは非常に大変です。FieldOps は、圃場やガイダンスラインを、マップ画面に表示しながら名前の編集や削除が可能ですので、重複していたり不要な圃場境界線やガイダンスラインを必要に応じてかんたんに整理できます。

可変施肥マップの作成



FieldOps は最近話題の可変施肥マップ (VRA マップ) の作成と書き出しに対応しています。書き出し形式は汎用的な SHP 形式 (シェープファイル) はもちろん、ISO XML 形式による TASK DATA でも書き出し

可能です。書き出されたファイルは USB メモリにコピーして、ガイダンスシステムに取り込む事が可能です。さらに、「MY PLM コネクトアドバンス」をお申し込みいただくと、USB メモリを介さずにトラクターのガイダンスシステムにインターネットから車両へ可変施肥データを送信することが可能です。(ニューホランド製 T6.T7 インテリステアトラクターの Tier 4B 以降のモデル、並びに P&C モデムが必要です)

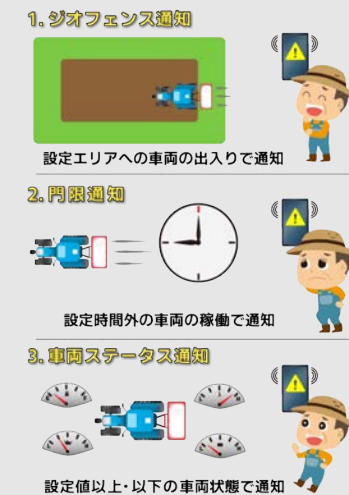
車両の状態の監視システム



FieldOps はお客様が所有する車両の一元管理が可能です。車両の所在地やキーのオンオフなど状態を PC やタブレット、スマートフォンからどこにいても確認できます。ニューホランド製のテレマ

ティクス対応車両 (トラクター、コンバイン、フォレージハーベスター) をお使いの場合は、さらに作業機の上げ下げの状態やエンジン回転数、油温油圧や燃料消費状態、そしてモニターのエラーメッセージなどを表示することが可能です。燃料消費量は自動的にグラフ化されますので、車両の作業状態やアイドリング状態など、利用シーン別に無駄な燃料を消費していないか確認できます。そしてこれらの車両状態をもとに、あなたの元に通知を送ることが可能です。車両の速度や PTO 回転数、油温や燃料消費率をもとに、設定した値を超えたり、下回った際に通知が送られます。そしてコンバインやハーベスターの場合には、収量・水分センサーを取り付けている場合、収量値や水分値に応じて通知を受け取ることも可能です。(車両の詳細情報の確認には、PCM 通信装置と MY PLM コネクトアドバンスが必要です)

車両の状態を通知でお知らせ



FieldOps には通知機能があり、車両があらかじめ設定した状態に変化すると通知が届きます。

1. ジオフェンス機能
設定したエリアの中に車両が進む、又はエリア外に出た際に通知を送ることができます。ご自身の圃場の敷地全体を登録しておけば、敷地外に車両が移動した時に通知を受け取る事も可能です。(車両の電源がオンの場合)

2. 門限通知
門限を設定しておく、車両が設定した時刻を超えてキーオンの状態になっている時に通知することが可能になります。さらに上記のジオフェンスと門限は組み合わせて使用できますので、設定した時間に設定した場所に到着した際に通知することもできますし、逆に、設定した時間外に車両が車庫から出ていった場合に通知を送るなどといった活用も可能です。

3. 車両ステータス通知
走行速度、エンジン回転数、エンジンオイル温度、エンジンオイル圧力、クーラント温度、エンジンアワー、燃料残量、燃料消費率などといった、車両ステータスに応じて通知することが可能です。

ニューホランド製品をご利用のユーザーはどなたでも FieldOps を無料でご利用いただけます



ブラウザからアクセスする際はこちらをご利用ください